

# 計画平面図

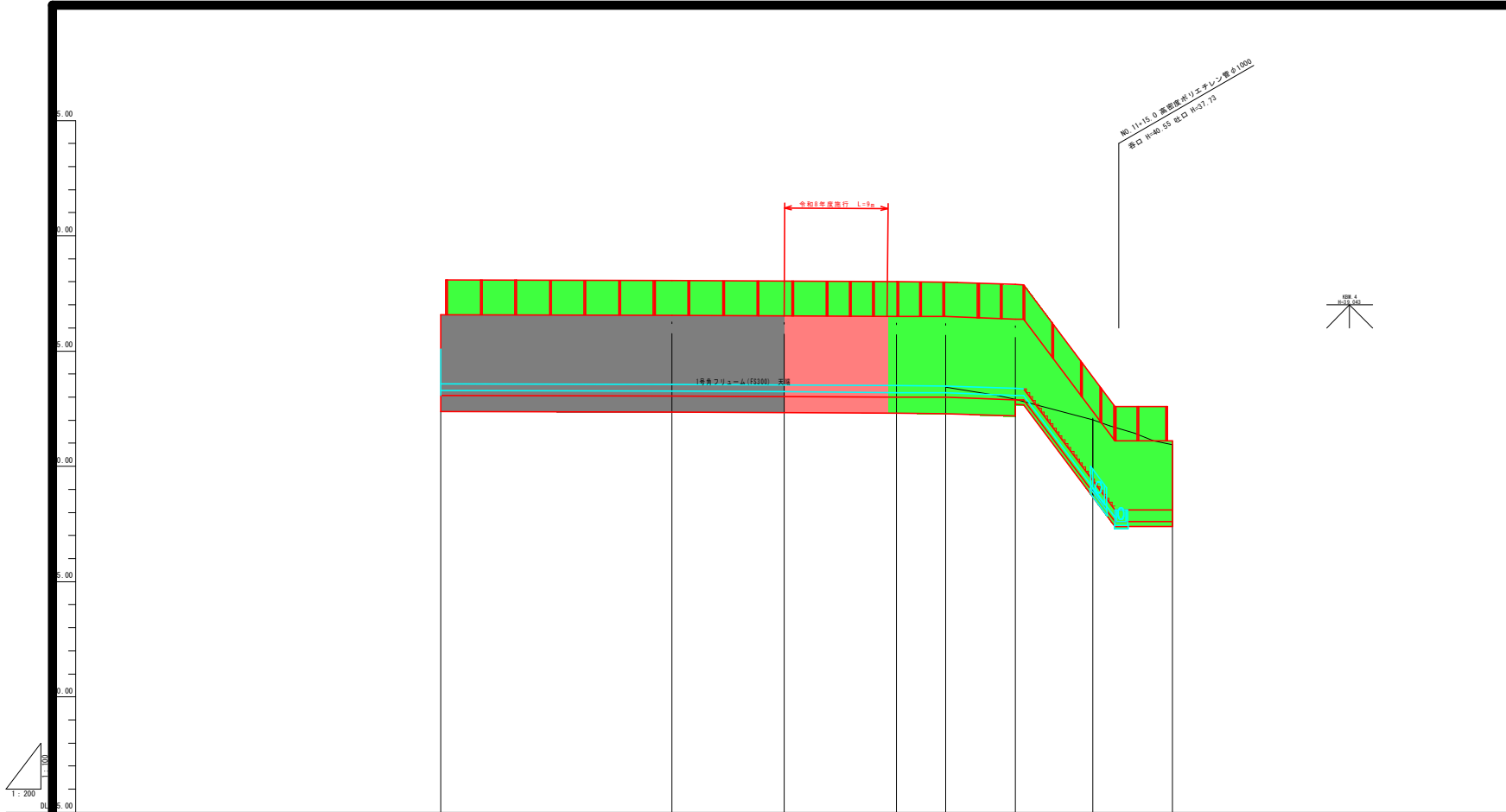


(R8) 明許 単県公共 起工

世界測地系

地区名	山滝谷地区
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	平面図
位置	鳥取市河原町片山
縮尺	1/500 単位 M
図号	全 10 葉中の内 1
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小

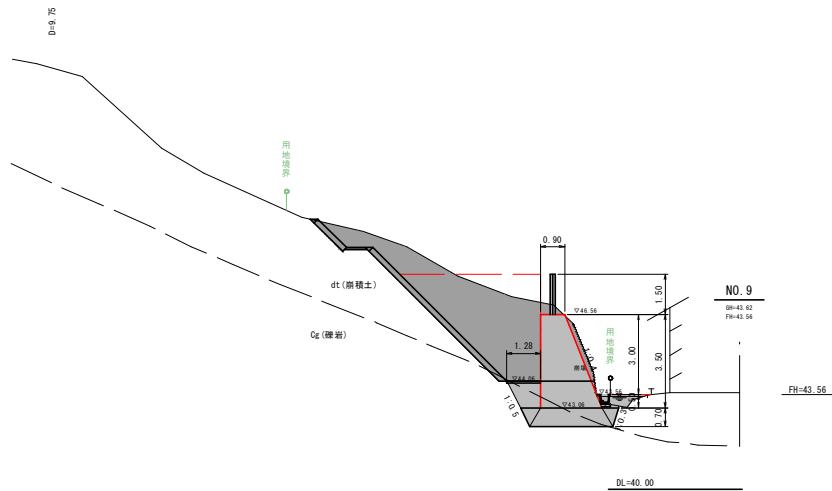


勾配									
計画断面	43.58	43.56	43.53	43.50	43.49	43.38	39.38	38.10	
盛土断面					0.05	0.48			
切土断面	0.66	0.06	0.33				2.62	2.84	
地盤断面	44.24	43.62	43.86	43.50	43.44	42.90	42.01	40.94	
追加距離	0.00	20.02	29.77	39.52	43.79	49.79	56.52	63.44	
単距離	0.00	20.02	9.75	9.75	4.27	6.00	6.73	6.92	
測点番号	NO.8 +49.79	NO.9	NO.9 +49.79	NO.10	NO.11	NO.11 +46.0	NO.11 +42.7	NO.11 +48.6	

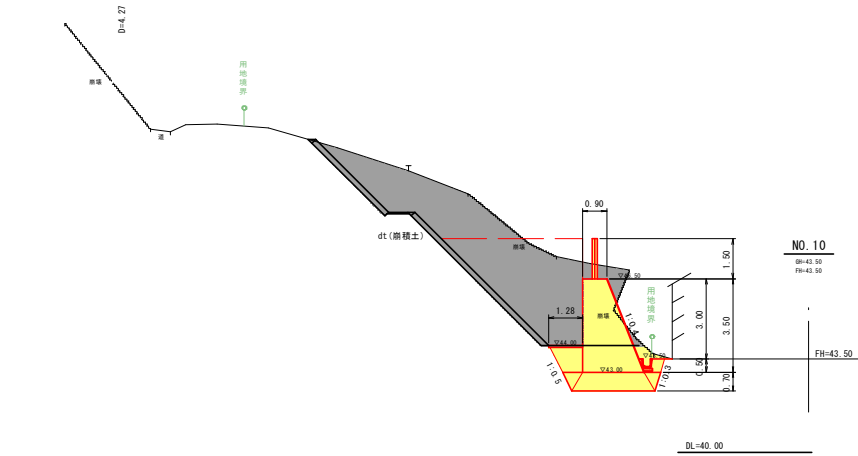
R8
現
単県公共
起工

NO. 8~NO. 11+19. 6	
地区名	山滝谷地区
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	縦断面図 (1/3)
位置	鳥取市河原町片山
縮尺	H=1:100 V=1:200
単位	M
図号	全 10 葉中の内 2
令和 8 年度施行 鳥取県	
鳥取県土整備事務所	

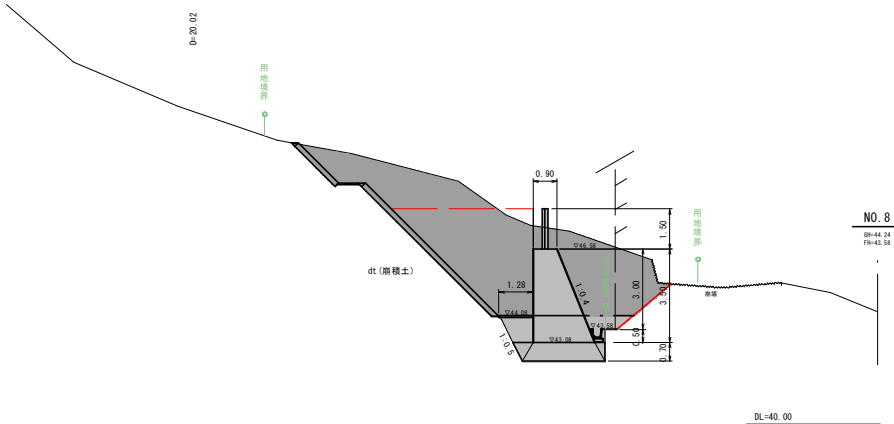
A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小



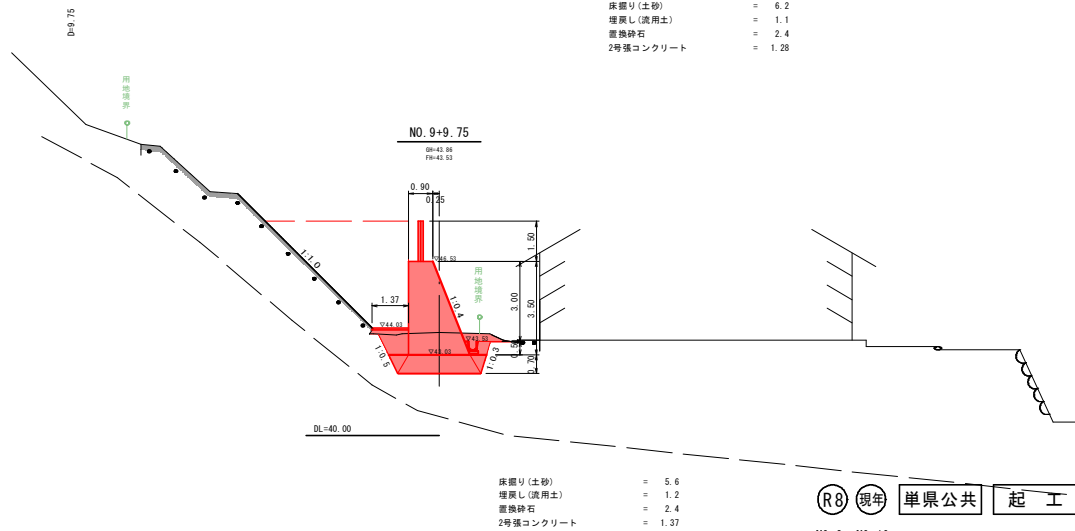
- 床掘り(土砂) = 5.6
- 埋戻し(流用土) = 1.4
- 置換砕石 = 2.4
- 2号強コンクリート = 1.28



- 床掘り(土砂) = 6.2
- 埋戻し(流用土) = 1.1
- 置換砕石 = 2.4
- 2号強コンクリート = 1.28



- 床掘り(土砂) = 6.4
- 埋戻し(流用土) = 1.0
- 置換砕石 = 2.3
- 2号強コンクリート = 1.28



- 床掘り(土砂) = 5.6
- 埋戻し(流用土) = 1.2
- 置換砕石 = 2.4
- 2号強コンクリート = 1.37

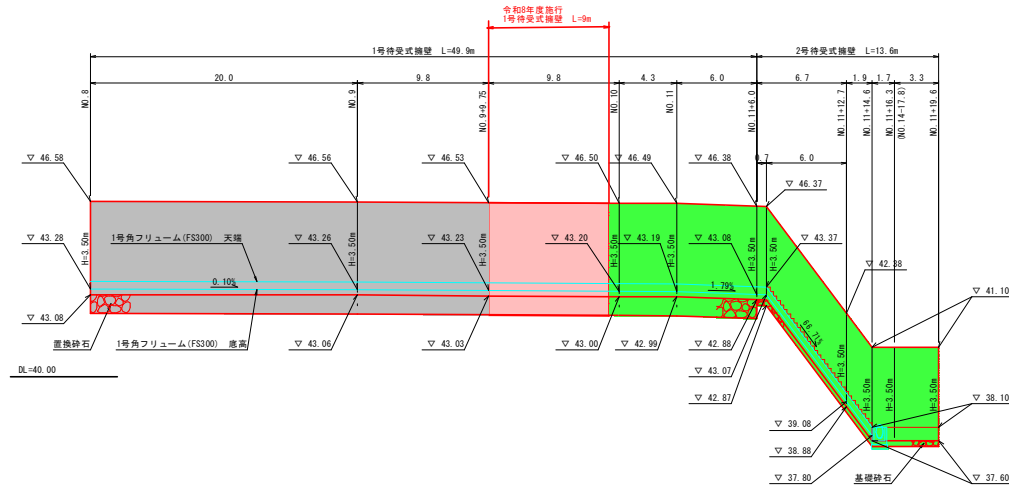
(R) 現年 単県公共 起工

NO. 8~NO. 10	
地区名	山滝谷地区
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	横断面図(1/5)
位置	鳥取市河原町片山
縮尺	1/100 単位 M
図号	全 10 葉中の内 3
令和 8 年度施行 鳥取県	
鳥取県土整備事務所	

A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小

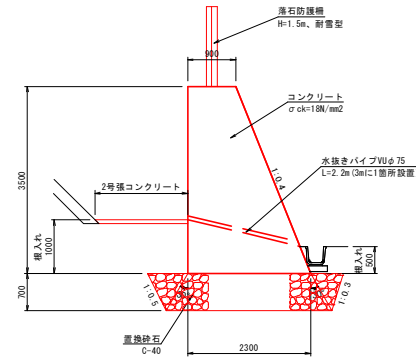
待受式擁壁展開図

V:1:100  
H:1:200



1号待受式擁壁

S:1:50



数量表 (10.0m当り)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σ ck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	56.000
型枠		m <sup>2</sup>	72.696
置換砕石	0-40	m <sup>3</sup>	別途計上
水抜きパイプ	Wφ75 L=2.2m	m	7.3
吸出防止材	t=10mm 150×150	箇所	3.3
足場工	単管積斜	掛m <sup>2</sup>	37.70
足場工	枠組	掛m <sup>2</sup>	35.00

- 注1) 擁壁自地の間隔は10m以下とすること。  
 注2) 中間支柱と水抜きパイプは1箇所に集中させないこと。  
 注3) 水抜きパイプはφ3m(3mに1箇所)の割合で配設する。  
 注4) 基礎地盤については、平板載荷試験等を実施して、以下の支持力を確認すること。

確認箇所	必要支持力(許容) (kN/m <sup>2</sup> )	安全率	極限支持力 (kN/m <sup>2</sup> )
1号待受式擁壁	101	×3	303
2号待受式擁壁	101		303
3号待受式擁壁	104		312

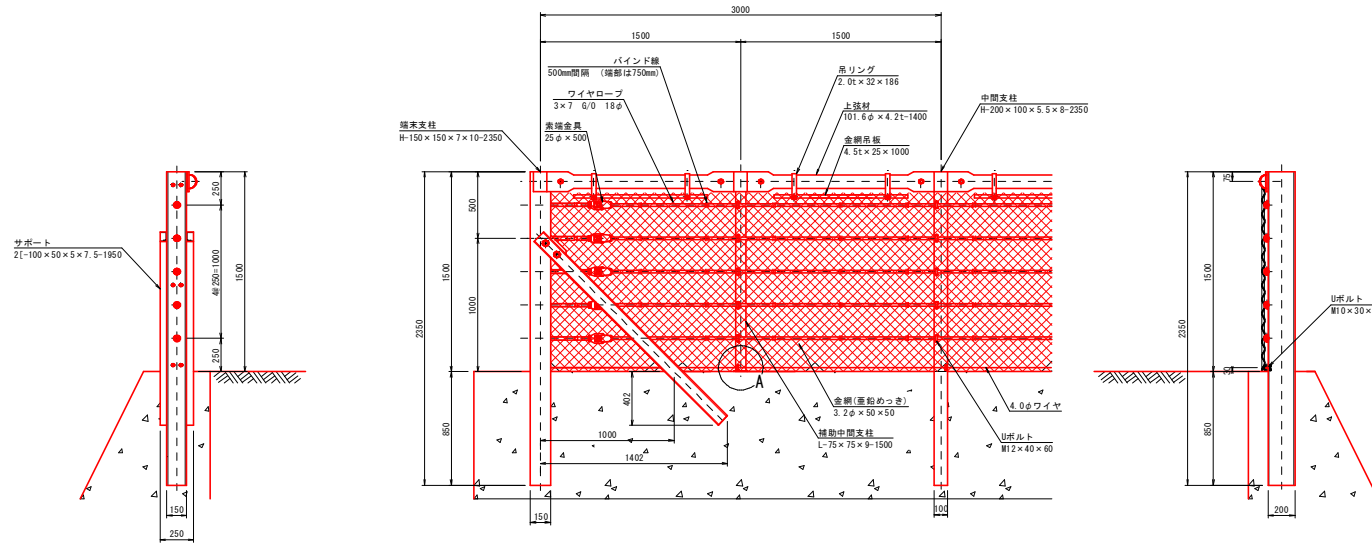
令和8年度 単県公共 起工

地区名	山滝谷地区		
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事			
図名	構造図		
位置	鳥取市河原町片山		
縮尺	図示	単位	M,mm
図号	全10葉中の内4		
令和8年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小

# 落石防護柵詳細図

H=1.50m、耐雪型 S=1:20



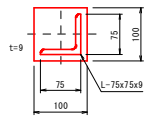
### H=1.5m 部品明細表

項目	寸法 (mm)	表面処理
ワイヤロープ	3×7 18φ	Znめっき
金網	3.2φ×50×50	Znめっき
ワイヤ	4.0φ	Znめっき
中間支柱	H=200×100×5.5×8	Znめっき
Uボルト	M12×40×60	Znめっき
	M10×30×60	Znめっき
端末支柱	H=150×150×7×10	Znめっき
サポート	ZF-100×50×5×7.5	Znめっき
ボルト	M27×60	Znめっき
金網止め丸棒	7φ×1500	Znめっき
角Uボルト	M8×60×40	Znめっき
巻掛金具	25φ×500	Znめっき
補助中間支柱	L=75×75×9	Znめっき
Uボルト	M12×40×60	Znめっき
	M10×30×60	Znめっき
上弦材	101.6φ×4.2t	Znめっき
ボルト	M20×50	Znめっき
吊りリング	2.0t×32×186	Znめっき
金網吊り板	4.5t×25×1000	Znめっき
ボルト	M8×45	Znめっき

※折れ点に中間支柱を建設する場合、Uボルトを補強するために、必要に応じて補強金具を取り付けること。

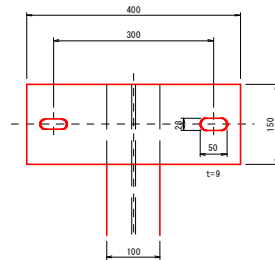
### A部詳細図

S=1:5



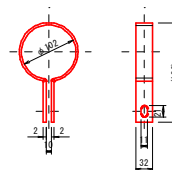
### 中間支柱天端寸法図

S=1:5



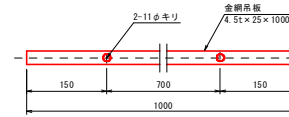
### 吊りリング詳細図

S=1:5



### 金網吊り板詳細図

S=1:5



R0 現年 単県公共 起工

地区名	山滝谷地区
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	構造図
位置	鳥取市河原町片山
縮尺	図示 単位 mm
図号	全10葉中の内5
令和8年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

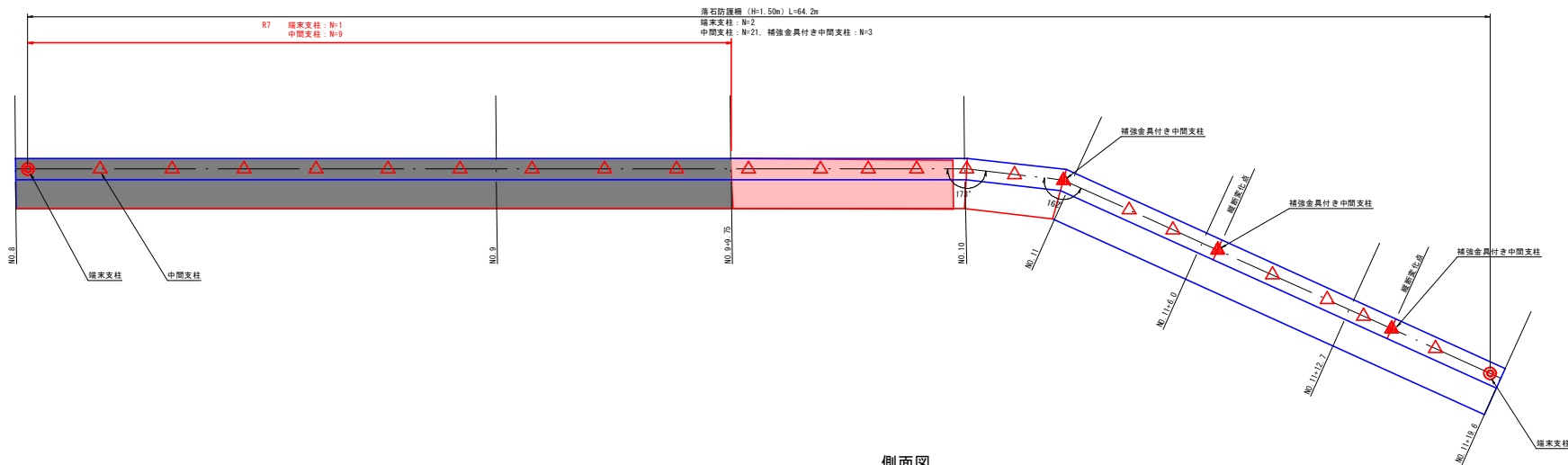
A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小

# 落石防護柵工割付図

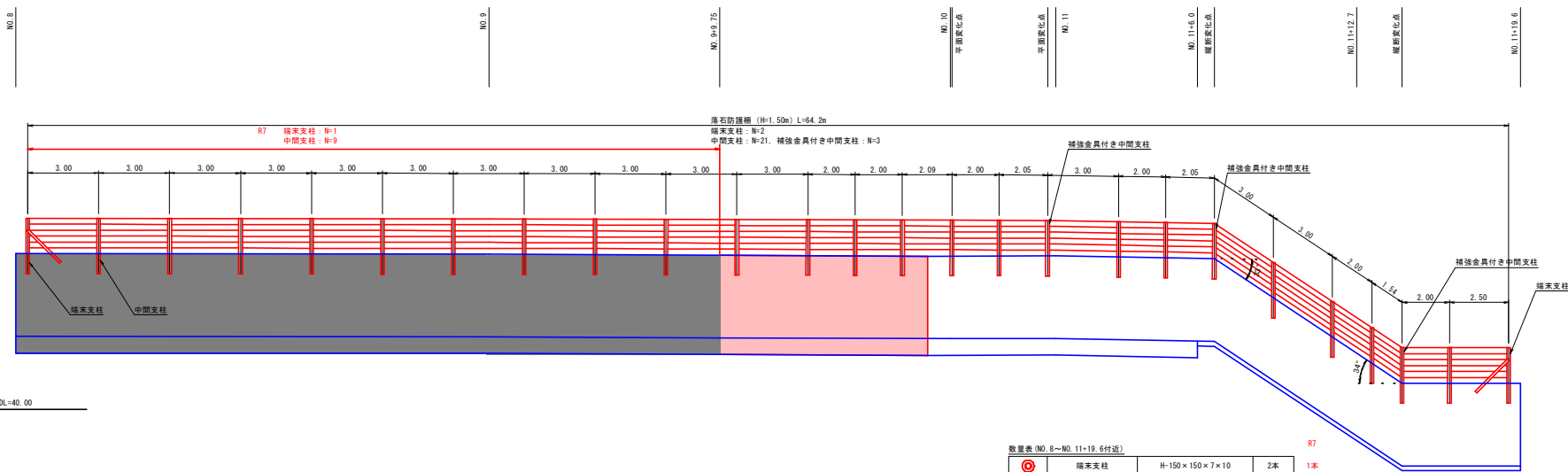
落石防護柵 (H=1.50m)

NO. 8~NO. 11+19.6付近

平面図



側面図



数量表 (NO. 8~NO. 11+19.6付近)

記号	名称	仕様	数量	備考
⊙	端末支柱	H=150×150×7×10	2本	1本
△	中間支柱	H=200×100×5.5×8	21本	9本
▲	補強金具付き中間支柱	H=200×100×5.5×8	3本	0本

※支柱割付けは参考である。

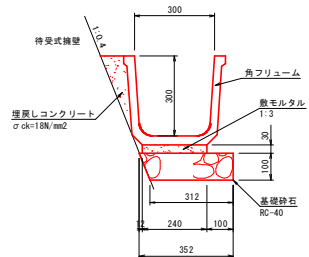
現年 単県公共 起工

地区名	山滝谷地区
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	構造図
位置	鳥取市河原町片山
縮尺	1:100 単位 M
図号	全10葉中の内6
令和8年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小

1号角フリューム  
(FS300)

S=1:10

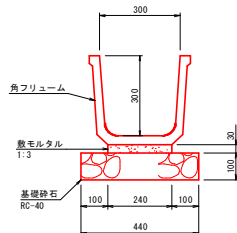


数量表(10.0m当り)

名称	規格	単位	数量
フリューム	FS300 L=2000	個	5.0
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.072
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	3.320
埋戻しコンクリート	σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.200

2号角フリューム  
(FS300)

S=1:10



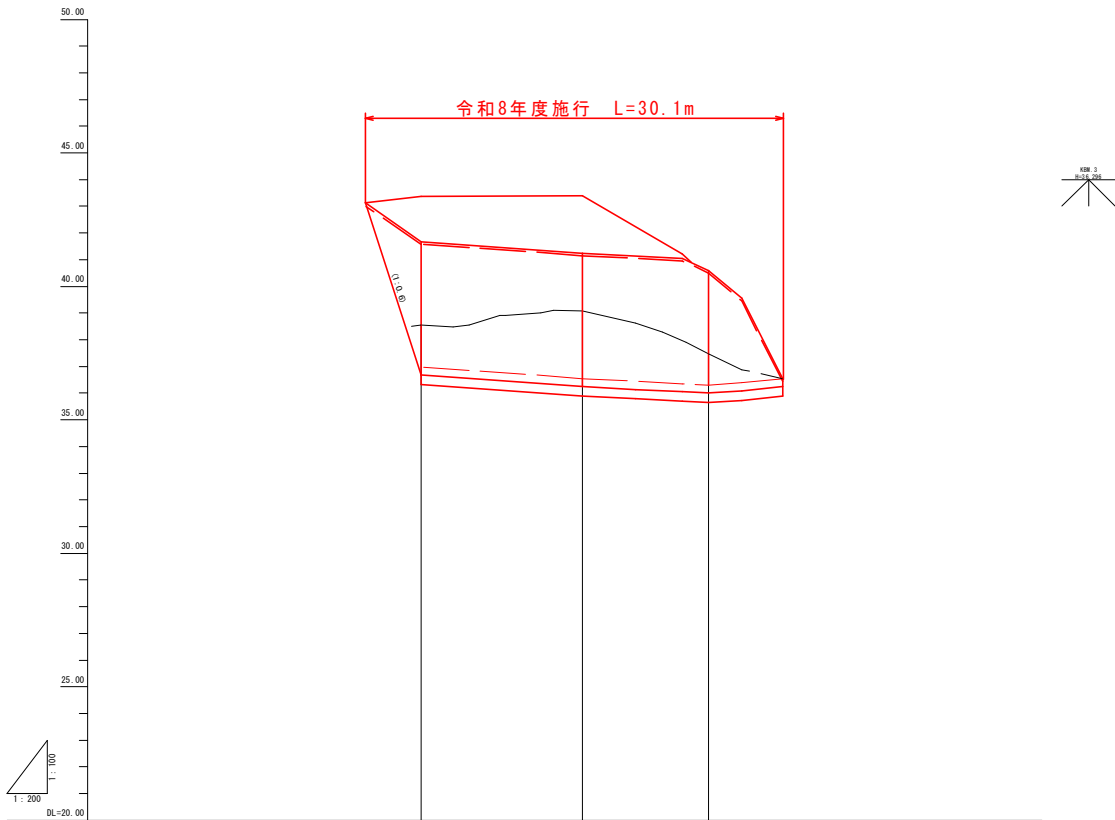
数量表(10.0m当り)

名称	規格	単位	数量
フリューム	FS300 L=2000	個	5.0
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.072
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	4.400

Ⓡ0 現年 単県公共 起工

地区名	山滝谷地区		
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事			
図名	構造図		
位置	鳥取市河原町片山		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 10 葉中の内 7		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小



勾配			
計画高		36.98	36.54
盛土高		0.00	0.00
切土高		1.58	2.55
地盤高		38.56	39.09
追加距離		-12.07	0.00
岸距離		0.00	12.07
測点番号		M0.12 M0.12.1	M0.13

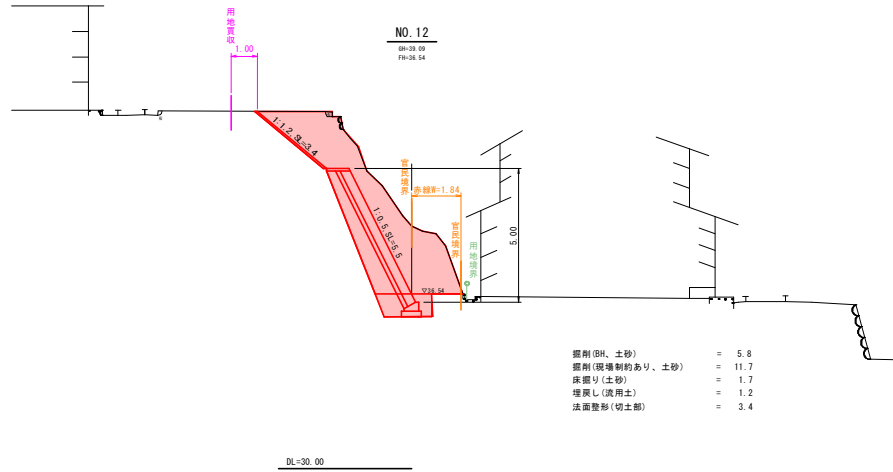
(R8) 現年 単県公共 起工

NO. 12-12.1~NO. 13

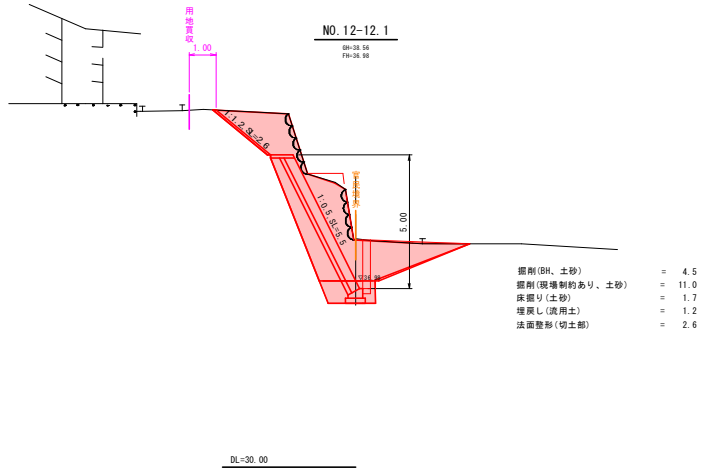
地区名	山滝谷地区		
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事 「測量設計業務委託」			
図名	縦断面図 (2/3)		
位置	鳥取市河原町片山		
縮尺	H=1:100 V=1:200	単位	M
図号	全 10 葉中の内 8		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小

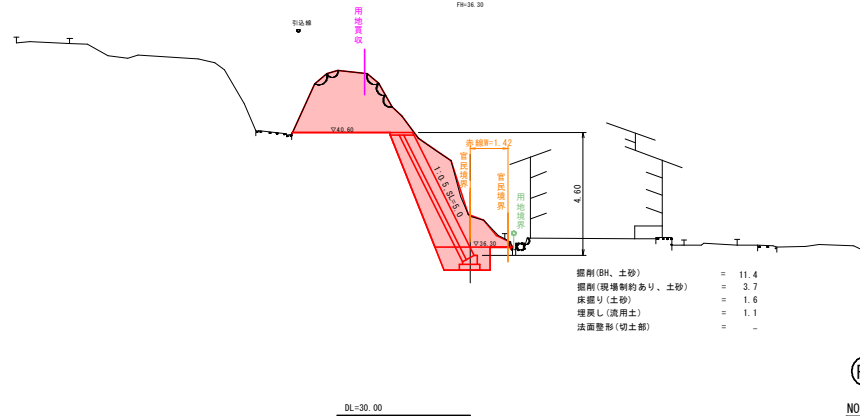
D=9.46



D=12.07



NO. 13

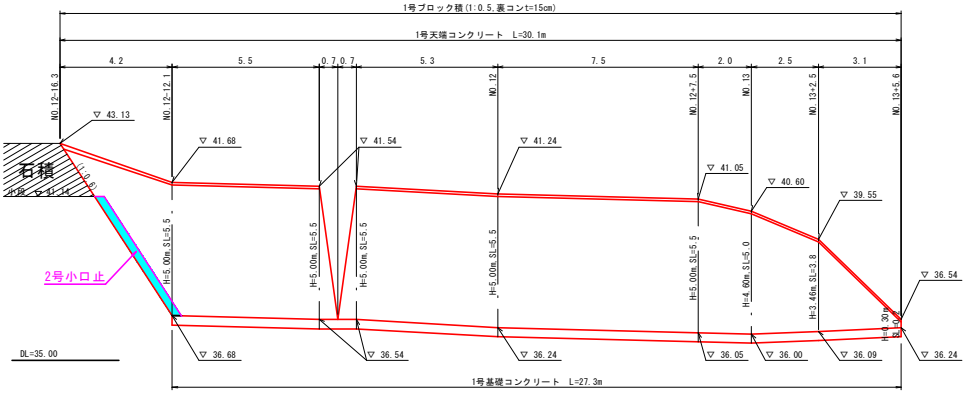


R8 現年 単県公共 起工

NO. 12-12.1~NO. 13	
地区名	山滝谷地区
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	横断面図 (3/5)
位置	鳥取市河原町片山
縮尺	1/100 単位 M
図号	全 10 葉中の内 9
令和 8 年度施行 鳥取県	
鳥取県土整備事務所	

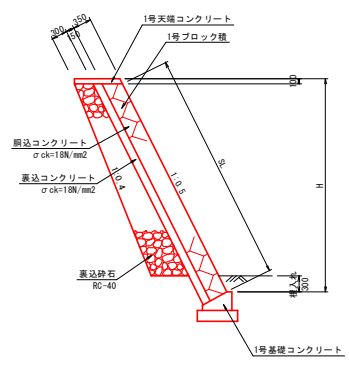
A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小

1号ブロック積展開図 (参考図) S=1:100

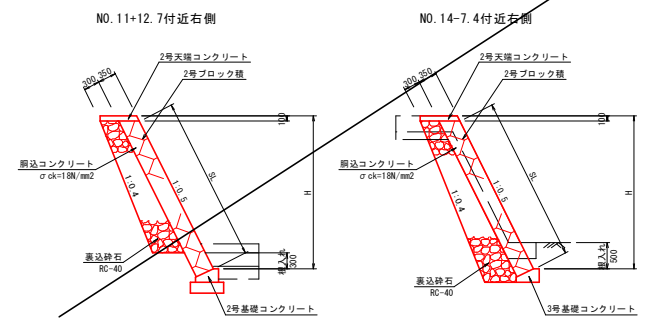


※NO.12+7.5、NO.13+2.5、NO.13+5.6の高さは机上作成した横断面を基に計画したものである。

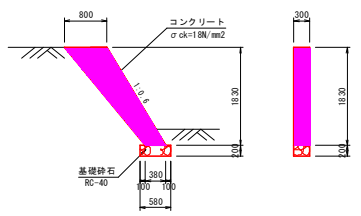
1号ブロック積標準断面図 S=1:50



2号ブロック積標準断面図 S=1:50



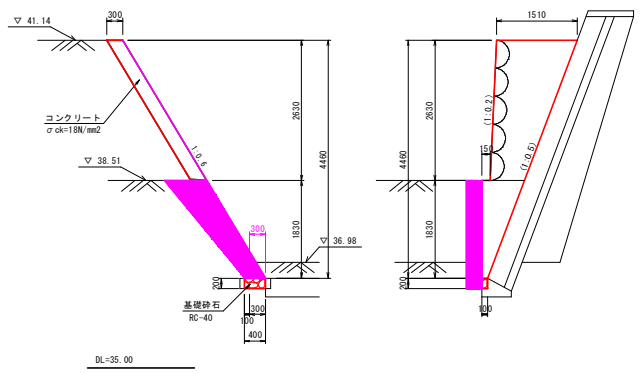
1号小口止 S=1:50



数量表(1箇所当り)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.324
型枠	m <sup>2</sup>	0.640	
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	0.174

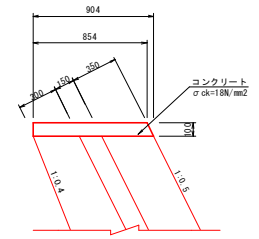
2号小口止 S=1:50



数量表(1箇所当り)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.092
型枠	m <sup>2</sup>	5.037	
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	0.040

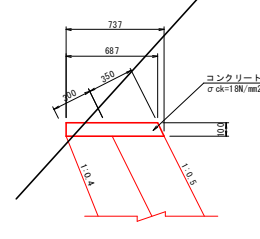
1号天端コンクリート S=1:20



数量表(10.0m当り)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.879
型枠	m <sup>2</sup>	2.118	

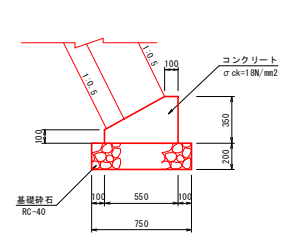
2号天端コンクリート S=1:20



数量表(10.0m当り)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.712
型枠	m <sup>2</sup>	2.118	

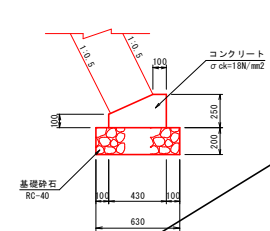
1号基礎コンクリート S=1:20



数量表(10.0m当り)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.363
型枠	m <sup>2</sup>	4.500	
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	7.500

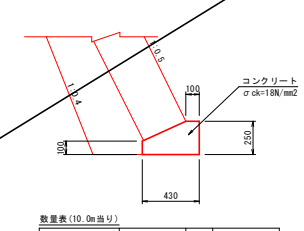
2号基礎コンクリート S=1:20



数量表(10.0m当り)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.828
型枠	m <sup>2</sup>	3.500	
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	6.300

3号基礎コンクリート S=1:20



数量表(10.0m当り)

名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.828
型枠	m <sup>2</sup>	3.500	

〔R8〕現行 単県公共 起工

地区名	山滝谷地区
山滝谷地区急傾斜地崩壊対策工事「測量設計業務委託」	
図名	構造図
位置	鳥取市河原町片山
縮尺	図示 単位 M、mm
図号	全10葉中の内10
令和8年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

A3サイズ出力時、図面表示の50%縮小